

2022年度 事業報告書

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

学校法人豊緑学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊緑学園（平成5年4月1日法人設立）

代表者 理事長 川越 真紀子

住 所 豊中市宮山町1丁目2番26号

電 話 06-6852-6906

FAX 06-6852-6919

設置する学校

住 所 豊中市宮山町1丁目2番26号

名 称 豊中みどり幼稚園

設置する保育園

住 所 豊中市柴原町5丁目14番1号

名 称 豊中みどりっこ保育園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 30名（豊中みどり幼稚園）

20名（豊中みどりっこ保育園）

2. 事業概要

（ 豊中みどり幼稚園 ）

《教育方針》

元気・やる気・勇氣

一心とからだのびのび・いきいき元気ー

《教育内容》

基本はクラス保育ですが、“人”との関わりを大事にする上で、異年齢児保育をよく取り入れたり、外国人（英語の先生等）、お年寄り、中学生、園外の方々等とのふれあいも大切にしています。また、家庭では体験できない新たな世界と出会い、幼児の自立に向けた基盤を育成すべく、日々の保育にあたっています。

《園児数》

1・2号子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	2	70	2	70	2	70	6	210
2021年度	3	65	2	67	2	67	7	199
2022年度	3	65	2	65	2	64	7	194
2023年度	3	63	2	60	2	60	7	183

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時

第3土曜日 午前9時～午前11時30分

《諸費用》

項目	1号認定	2号認定
入園受入準備金	3歳児 30,000円 4歳児 20,000円 5歳児 10,000円	3歳児 30,000円 4歳児 20,000円 5歳児 10,000円
保育料（月額）	豊中市が定める金額	豊中市が定める金額
教育充実費（月額）	4,000円	5,000円
施設協力費	10,000円	10,000円
給食費（月額）	3,920円	8,400円
バス維持費（月額）	3,500円	3,500円
P T A（月額）	1,000円	1,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 通常保育終了後～午後5時まで 1時間300円

午後5時～午後7時まで 1時間400円

土曜日 通常保育終了後～午後3時まで 1時間300円

長期休暇中 午後5時まで 1時間200円

午後5時～午後7時まで 1時間300円

《行事实施状況》

春の遠足、プール開き、七夕音楽参観、お泊まり保育、運動会、バザー、もちつき大会、人形劇鑑賞、生活発表会、球技大会、秋の遠足、つくってみよう会、クリスマス会、ひなまつり会、卒園お別れ遠足、お誕生会、えいごのオープンクラス

《施設関係》

園地面積 1,169.1㎡ 運動場面積 642.7㎡

幼稚園部門より、木製遊具、メリープルー式他の除却。

保育所部門より、ロフト遊具の除却。

《設備関係》

幼稚園部門より、アクセスポイント設置設定。エアコン、複写機等の除却。

保育園部門より、ワイヤレスアンプ、デスクトップパソコン等の取得。電動自転車の除却。

（ 豊中みどりっこ保育園 ）

《園児数》

保育所 定員25人	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
2022年度	6	10	12	28
2023年度	6	10	12	28

《事業報告》

昨年に引き続き、コロナ感染対策をしながら、子どもの育ちを支えていく為に、行事や活動の実施の仕方や取り組みなどを工夫した。行事は学年ごとに行ったり、参加人数の制限をしたりしたので、配信する機会を多くした。配信することで、子どもの育ちや保育内容などをたくさんの方と共有でき、理解を得る事ができた。タイムリーにわかりやすい写真を使って配信し、こどもの姿や育ちを伝えてきたことにより、保護者・保育者・子ども間に対話が生まれ、相互理解を図ることができた。さらに教育理念や保護者に配信の目的、ねらいを周知し、深めていきたい。

今年度も2つのプロジェクトを作り、視点を絞って子どもの育ちをみて、その姿を職員間で共有していった。また、学期ごとに月の振り返りをする場を学年ごとにつくり、共有していく事で、1年を通しての子ども育ちや、保育者が子どもの思いを理解する等、子ども理解が深まった。

業務効率化の取り組みとして、業務をICT化したり、園内全てにwi-fiを通したり、自分達の仕事を計画・可視化したりしていくことで、やるべきことや時間を有効に使える事が出来てきた。また、今年度の経験を活かし、さらに改良、改善をしつつ次年度につなげ、教育、保育の質を上げていきたい。

《自己評価》

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおり纏め公表に努めた。

《財務状況》

事業活動収支計算書より、教育活動収入計が299,597千円（対前年比5.07%、285,133千円）、教育活動支出計258,516千円（対前年比2.77%、251,543千円）、教育活動収支差額41,081千円（前年度33,590千円）、教育活動収支差額比率13.71%（前年度11.78%）、経常収支差額比率13.73%（前年度11.81%）の経営状況となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、62.45%（前年度63.21%）となり、前年度より低下した。

翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。